



袖崎児童センター「おゆうぎ会」

 **むらやま**

# 議会だより

**No.68**  
平成23年1月15日

- ◎新年にあたり ..... p2
- ◎12月定例会・補正予算・条例改正 ..... p3
- ◎代表質問（市政クラブ） ..... p4
- ◎一般質問 ..... p5～p10
- ◎議会活動・一部事務組合議会報告 ..... p11
- ◎市民の声・議会ウォッチング ..... p12

むらやま「議会だより」は、健全で開かれた議会を実現するために、情報の開示を主目的とし、議員による編集を経て年4回発行しています。

# 新年にあたり

議長 柴田好美

市民皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、自然災害とも言わなければならない大きな影響を受けました。また米価の安値は、本市経済に大きな影響を受けました。そして追い討ちをかけるようにTPPへの参加が検討されるなど国民の不安がつりまわりました。議会としても早速、国に対して迅速な参加をしないよう意見書を提出いたしました。

村山市は、昭和29年に誕生して以来、高度経済成長期の都会生活への願望や若年層の人口流出が年々すすみ、平成の時代に入ると少子高齢化の波がいつそう強さを増す現象となりました。

この結果、国が示す人口減少率や財政力などにより『過疎地域』の指定を受けましたが、これを受け12月議会に提案された『過疎地域自立促進計画』を議決いたしました。今後6年間は、地域における住民福祉の向上や働く場の創出、さらには豊かな自然環境や伝統文化など地域資源を生かした自立の促進、そして高齢者が健康で生きがいを実感できるまちづくりを市民皆様と一緒に考えていきます。

この秋は、市議会議員の選挙となります。議会の役割と責任を自覚し、市民に信頼される議会活動を展開してまいります。結びに、市民皆様のご多幸と村山市の発展をご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。



## 村山市過疎地域

### 自立促進計画を可決

平成22年第4回定例会が、11月30日から12月13日までの会期で開かれました。

上程された議案は、条例7件、補正予算6件、村山市過疎地域自立促進計画の策定等3件が可決されました。

#### 条例関係等

- ▼村山市過疎地域固定資産税課税免除条例について
- ▼村山市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例について
- ▼村山市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について
- ▼村山市手数料条例の一部を改正する条例について
- ▼村山市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について
- ▼村山市火災予防条例の一部を改正する条例について
- ▼村山市低開発地域工業開発地区固定資産税免除条例を廃止する条例について

#### 補正予算関係

- ▼北村山広域行政事務組合規約の一部変更について
- ▼村山市基点リバーサイド地区交流促進施設の指定管理者の指定について
- ▼村山市過疎地域自立促進計画の策定について

#### 補正予算は一般会計及び特別会計5件が上程され、それぞれ可決されました。

一般会計歳入では、地方交付税1億5千600万円の増、県支出金2千374万円の増、市債6千850万円の増、市税9千万年の減、繰入金8千290万円の減など1億864万7千円の増額となっております。

また歳出では民生費3

#### 請願

- ▼最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める請願  
(提出者) 全国年金者組合 北村山支部長 板垣とも子
- ▼高齢者の生活実態に見合う年金引き上げを求める意見書の採択を求める請願  
(提出者) 全国年金者組合 北村山支部長 板垣とも子
- ▼賛成少数で不採択  
(賛成少数で不採択)  
(提出者) 全国年金者組合 北村山支部長 板垣とも子
- ▼後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める請願  
(提出者) 全国年金者組合 北村山支部長 板垣とも子
- ▼TPPへの参加に反対する請願  
(提出者) 村山市農民連 会長 花鳥賊義廣
- ▼子ども手当財源の地方負担に反対する請願  
(提出者) 榑岡鶴ヶ町 佐藤勝雄
- ▼農家が安心して生産に取り組める施策の実現とTPPへの交渉参加に反対する意見書  
(全会一致で採択)
- ▼道路維持管理費確保の請願書  
(提出者) 榑岡鶴ヶ町 佐藤勝雄

#### 議員発議

- ▼「村山市過疎地域自立促進計画の策定について」に対する附帯決議
- ▼子ども手当財源の地方負担に反対する意見書
- ▼農家が安心して生産に取り組める施策の実現とTPPへの交渉参加に反対する意見書
- ▼道路維持管理費確保を求める意見書
- ▼村山市少子化・教育地域活性化検討特別委員会の設置について

#### 指定管理施設

- 村山市基点リバーサイド地区交流促進施設
- 指定団体
- 特定非営利活動法人 村山蕎麦の会

### 一般会計補正予算の主な内容

(単位：千円)

一般会計	補正額	108,647	総額	10,637,743
歳入				
・市税		△ 90,000		
・地方交付税		156,000		
・国庫支出金		9,302		
・県支出金		23,740		
・繰入金		△ 82,900		
・繰越金		24,005		
・市債		68,500		
歳出				
・福祉灯油券助成事業		3,330		
・緊急雇用対策事業		3,561		
・農道除雪事業		2,050		
・市道特殊改良事業		△ 30,912		
・除雪事業		109,000		
・急傾斜地崩壊対策事業		2,300		
・東沢公園整備事業		△ 16,479		
・重度心身障がい(児)者医療給付事業		9,059		
・要保護・準要保護生徒扶助事業		1,463		

### 特別会計補正額

(単位：千円)

	補正額	総額
国民健康保険事業	50,010	2,747,393
公共下水道事業	△ 5,020	1,182,768
介護保険事業	4,450	2,020,326
農業集落排水事業	300	71,390
水道事業会計		
収益的支出	186	666,143
資本的支出	△ 2	205,702

代

表

質

問



市政クラブ

鈴木健治 議員

◎産業の振興について

Q 米価の大暴落による村山市の仮渡金の現状と、今後の農業振興に対する取り組みは。

A 21年産米の仮渡金は本年度は18億円に減少し、農業は厳しい現状と認識。村山市は、県と協力しながら付加価値を付けられるように出来ることを積極的に支援していきたい。

Q 一昨年より実施している徳内資金融資制度をより一層充実させ、新規融資には2千万円に拡大するよう万全の支援体制を検討している。

A 昨年度は24億円であったが、本年度は18億円に減少し、農業は厳しい現状と認識。村山市は、県と協力しながら付加価値を付けられるように出来ることを積極的に支援していきたい。

◎過疎地域自立促進計画について

Q 今回上程された過疎地域自立促進計画はこれまで計画されていた総合計画の前倒しと事業予算の過疎債への付け替えではないのか。過疎地域脱却のためのプランは、道路、流雪溝の整備

A 道路、流雪溝の整備は、地域の実情を検討しながら進めていく。公共交通のあり方は、現在基礎調査中であり、そ

の結果を待つて進める。ブロードバンド、防災無線の整備は、3ヶ年の実施計画の中で進めていく。企業誘致は、相当数引き合いがあり、工業団地の整備を進めながら対応する。障がい者雇用については、県および北村山3市1町と連携して雇用の充実を図っていく。村山駅前などのパッケージ事業は順調に進んでいる。桶岡北町の雇用促進住宅は、若者の雇用確保のために整備していきたい。

道路のバリアフリー化は、今後とも高齢者や障がい者にやさしい環境整備と併せて進めていく。北村

山公立病院の医師不足に対する対応は、日本医科大学はもちろん、山大学部、東北大医学部にも今後とも働きかけを行っていく。

Q 村山市の環境行政は温暖化防止のためのバイオマスタウン構想の策定や電力の地産地消に取り組みされたことは全国的にも評価された。今後の取り組みを伺う。

A 村山市の温暖化防止のためのCO2削減の目標を06年を基準に12年まで8%、1千500tの削減を目指す。また、自然の恵みを活かした小水力発電は幕井浄水場の利用を

断念。今後とも費用対効果を調べながら検討する。

◎村山市の教育行政について

Q 過疎地域自立促進計画の実施計画に大倉小の改築予算、大倉小の基本設計予算が計上された事には安堵するが、子ども達の安全安心のための耐震計画と全国市長会での子ども手当の協議について市長の見解は。

A 本年度は、富本小、大倉小の体育館、袖崎小の校舎、桶小の小体育館は本年中に完成予定。今後も桶小の校舎、富並小の校舎についても年次計画で対応していく。子ども手当の件は、全国市長会での決議を重視していく。内容は子ども手当に関するシステム整備事務経費、人件費については全額国庫負担とすること。更に給食費等の未納の問題を含め、公平公正の面から子ども手当を保育料、給食費などを徴収できるよう法律に明記し、地方の意見を十分に聞いてもらいたいと思っ

◎安全安心な街づくりについて

Q 住宅用火災警報器の設置義務化の期限が迫っているが、村山市の普及率の状況は。また、広域消防の取り組み状況について伺う。更に、村山市が取り組んでいる子ども救命士育成プロジェクト事業は全国的に評価されているが今後の事業展開について伺う。

A 本年1月の調査では54%を超えているが引き続き普及向上に努めていく。広域消防のあり方については、7市7町の広域化が望ましいと思うが、各市町の格差もあって平成25年の広域化は無理と判断した。しかし、市民の安全安心のためには、常備消防職員の充実を図り当面は村山市単独での運営を行う。子ども救命士育成事業は、市内小学校の4校で行っているが、残りの4校についても小学校からの要請を待って実施するのでなく救命救命の意識の向上のために各小学校長に働きかけを行っていく。

ここが聞きたい！  
一般質問

Q & A

本定例会の一般質問は  
12月2日・3日に11人の議員が行いました。  
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



長南 誠 議員  
空き店舗活用事業は  
にぎわいづくりの起爆剤

Q 空き店舗活用による賑わいづくり、今後のまちなか賑わいづくりはどのように考えるか。

A 旧横丁市場を改装、生鮮食料品の販売、飲食店が一緒になった施設を整備し、賑わいづくりの起爆剤を担う事業を計画、来春開店に向け準備をしている。事業主は経営理念をしっかり持つており、信頼し支援しながらやっていく。

Q 既存の商店、飲食店会との関係はどうか。

A 営利のみ目的ではなく、賑わいづくりの起爆剤になる事業が希望であり、今後既存の店との話し合い説明をし、事業を進める考えのようだ。西部最終処分場に焼却施設等が建設され



屋村構想の空き店舗

た。今後、施設への市の対応はどう考えているか。

A 市としての対応は、施設が県の認可施設であり、市民、地域住民に不安のないように対応したい。議会への説明の遅れは意図的ではない。今後はないようになりたい。

Q 環境協力が年間約650万円入る予定、使途はどう考えているか。

A 環境汚染防止・環境推進・環境の整備に使用したい。また、産廃処理場内の箱罫でのガラス捕獲数は19年から千192羽である。





## TPPへの参加に反対を 川田 律子 議員



TPP 参加反対の山形集会

## 『村山のよき』の発信を 秋葉 新一 議員



今の状況と思っている。東北市長会や全国市長会でも、全体をまとめる困難の中で、慎重に地方の意見を聞きながら拙速にならないように、との要望書を出している。市としても農業団体や議会とも連携を取りながら対応していきたい。

**Q** 高齢者に配慮した除雪については、またなしの喫緊の課題である。過疎地域自立促進計画の中で最も必要な施策ではないのか。お互い様や、有償・無償のボランティアか、本格的な雇用を生み出す施策でやるのか。

**A** 玄関先に雪を置かないうよう指導を行っている。福祉協議会でも桶高の野球部のような新たな除雪ボランティアをやっていて。高齢者の除雪費支給事業の内容の点検も含めて検討したい。

**Q** フィルムコミッションとは、映画テレビドラマCMなどのロケーション撮影を誘致し、ロケをスムーズに進めるため、警察消防等の許可、宿泊食事の手配などサービスを提供する非営利の公的機関のこと。村山の魅力、価値の広報機能の位置づけと考える。広域的な取り組みを。

**A** 地域の活性化、文化観光の振興、情報の発信、経済的効果が得られ、素晴らしいものと認識している。今年、ロケーションガイドブックを作成中。来年度は、山形フィルムコミッションから広域連携の打診があり、前向きに検討していきたい。

**Q** 映像制作に関わることで地域文化の創造や振興、郷土愛につながると思う。「山形ふるさとCM大賞」制作の推進を。



基点付近の風景

**A** 来年度さらに成果が図られるよう、人員の配置や体制づくりをはじめ、環境整備に努めていく。

**Q** 植物を建築物の外側に生育させ温度上昇抑制を図る「緑のカーテン事業」コンクールを。

**A** 公的な施設から設置を推進する。

**Q** 市職員の意見発表会職員提案制度、各課横断課題解決案作成チームを作っては。

**A** アイデアを出せる機会、とり上げる体制づくりを、常に考えている。



## 楯岡俵町住宅跡地と周辺整備は 大山 正弘 議員

**Q** 昭和37年に整備された楯岡俵町住宅団地跡地と道路整備等について。

**A** 住宅団地跡地は、地元で還元できる土地と考えており、緑地公園、避難場所、雪置場等と考えている。現在のところ

売却の考えはない。市道俵町北線の整備は、平成20年から開始し23年度舗装完成するが、俵町周辺の道路計画についても引き続き検討して行く。さらに徳内大橋を渡り駅西に向かうルートが分かりにくい事や右折線が未整備

のため、渋滞が発生したり、冬はスリップして後続の車が追突する危険がある。現在は誘導する看板が設置されていないが、町内に誤って入った車が駅西に行く途中迷わない様に、来年度俵町西新町橋のもとに案内板を取付けたいと考えている。

**Q** 22年産米価格下落による一戸当りの影響額と一等米比率状況は。

**A** 農家一戸当り約22万円減収と米の個別所得補償交付額と変動部分額は16万7千円と見込まれる事から、11月末現在5万3千円の減収になると試算している。市内の1等米比率は93%で昨年より5.3%低下しており、影響額を1等米と2等米の価格差から試算した場合、市内全体で627万円の生産額の減少であり、農家一戸当り2千228円の減収になる。



改良が進む市道俵町北線



## ふるさと応援寄附金 森 一弘 議員

**Q** 村山市過疎地域自立促進計画が上程された。村山四総そのものように。市民は夢を、サプライズを希望。

情報インフラ整備は6年後と示されている。市民は「未だ整備もなっていない、早く整備をして下さい」と言っている。本来なら、超高速ブロードバンド利活用の検討・施策に取組んでる時期だ。近隣市町村でも整備は完了。利活用が始まっている。

**A** H23年度からの3ヶ年実施計画に、早めて入れるよう検討していく。活用意見に対しても検討していく。

**Q** 市民税9千万円の減額補正が上程された。当初の予想と大きく乖離している事は非常に重大なことだ。その要因は。市民税は3年で約3億7千万円減少、歳入なくして歳出はありえない。他



ふるさと『村山市』

市では「ふるさと応援寄附金」として「ふるさと納税」を募っている。天草市では市職員に一名以上の寄付者紹介を依頼10倍の成果あり。制度の活用を積極的に検討すべきでは。

**A** 昨年度の急激な経済状況変化の所得への

影響が読めなかった。「善意に対し目標額を設定し集める事は、どうなのか」という思いを持っている。

**Q** 市に携って全員の自治体を経営する意識をもって行動すべきでは。



## “楽しい歴史探訪のすすめ”

**私** たちの母なる川、最上川は幾千年の舟運の歴史を乗せて村山市を縦貫して流れる。その歴史の深さは、河岸段丘上から発掘された1万年前の出土遺物からも見て取れる。実に気の遠くなるような祖先の営みである。

私たちは、このような歴史の一片である天平9年（737年）の大室駅を探し活動している。



旧羽前国北村山郡土生田村字大室付近

古代、多賀城から6千の軍勢が奥羽山脈を越え、出羽国の大室駅に至ったという「続日本紀」の記述から、袖崎地区の土生田にある「おもろ」が旧字名大室の地ではなかったか、として研究会を作ったのである。県内はもとより群馬の大室、宮城の多賀城、秋田の西馬音内、新潟の土生田神社と訪ね歩き、奥羽山脈の軽井沢越え散策は、毎年行い楽しい思い出を作ってきた。

生涯学習の一つとしてこれからも続けていきたい。

また、暮点温泉付近の遊歩道を延長し、古代万葉の道と名付けた歴史の道を創れないか、などと思ったりしている。



軽井沢越大室研究会 会長  
平山 繁 さん（袖崎）  
（左端）



最上川

## ぎがいわおツチング

### 問 だれでもできるの

こたえ：どなたでも市議会に対して請願、陳情をすることができます。

### 問 請願と陳情のちがいは

こたえ：請願は本会議に上程後、所管の委員会で審査され、最終的には本会議で「採択」か「不採択」かが決定されますが、陳情の場合は、陳情書の写しを議員全員に配布するのみです。なお、請願は議員の紹介が必要です。

### 問 提出方法は

こたえ：①請願は、必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要です。（陳情には不要です）  
②1請願（陳情）に1案件となっています。  
③A4版縦の用紙に横書きにし、できるだけ邦文で提出してください。

## 議会の傍聴へお気軽に おいでください

議会の傍聴することは、市政の運営を知り、皆さんから選ばれた議員の活動状況などを理解する一つの方法です。

議会は一般に公開され、どなたでも傍聴することができますので、お気軽においで下さい。

12月議会の傍聴者は、14名でした。

決算書、予算書が傍聴席入口でも閲覧出来るようになりました。

▲市のホームページに「会議録」を掲載しています。

<http://www.city.murayama.lg.jp/0530gikaizimukyoku/index.html>

ぜひご覧ください。

## あとがき

新年を迎えられお慶びを申し上げます。

昨年、議会だよりを  
ご愛読いただき有難うござい  
ました。議会は議論の府であり議決機関であることを肝に銘じ各議員更に精進してまいります。わかりやすい議会だよりを目ざし頑張ります。

（茨木久彌）



## 議会広報特別委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
秋葉 新一	長南 誠	茨木 久彌	鈴木 治	川田 敏彦	佐藤 健子